

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2579回例会プログラム

[当年度=21回目；当月=3週目]

2008年（平成20年）1月21日（月）

〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(1/28)……クラブフォーラム(社会奉仕委員会)
AED トレーナー機について
(2/4)……クラブフォーラム
(ロータリー情報委員会)
講師 地区ロータリー情報委員会
副委員長 前田 孝司氏
(紹介者 加藤 哲也 会員)
- 13:00 14. 本日のプログラム
卓話 「私のマニフェストについて」
講師 刈谷市長 竹中 良則氏
15. 謝辞
16. 点鐘……〈会長〉
17. 閉会宣言
- 13:30 18. 散会

ビ ジ タ ー

加藤 知成 様 (東知多 RC)

ゲ ス ト

新入会員予定者 伊藤 禎康 様
" 神田 彦 様

出 席

会員総数 93名 出席免除 19名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 13名 出席率 85.06%
前々回 (12/20) の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1月10日に刈谷警察署感謝状贈呈式があり、当クラブへの感謝状を鈴木幹事が頂いて参りました。
- 竹内一郎会員に米山奨学生選考委員の委嘱状が届いていますので、ご披露します。

委 員 会 報 告

●ロータリー財団委員会

ロータリー財団国際親善奨学生推薦依頼が来ております。24000ドルと恵まれた奨学制度ですので、是非ご利用下さい。詳細は事務局もしくは竹内まで。

会 長 あ い さ つ

橋本 恭典



昨年の秋に有島記念館のことをお話ししましたが、その土地、ニセコのことには触れませんでしたので、今日はニセコと言うか倶知安あたりの温泉とスキーについて述べてみたいと存じます。

ニセコという言葉ですぐ頭に浮か

ぶのはパウダースノーです。衣服に付いた雪は、はたけばばらばらと落ちてウェアは濡りません。冷たいシベリア寒気団と日本海の湿った空気の影響で、ニセコの西側の山に湿った雪が降り、ニセコには割りと乾いた雪が積もるのでしょうか。ちなみにスキー場は蝦夷富士と言われる羊蹄山ではなく、その西側のニセコアンヌプリの山頂から放射線状に広がっている一帯で、山頂付近からはどのゲレンデにも滑り込むことができ、雄大であり混雑しないゲレンデです。

最近といってもここ3-4年、このエリアは大きく変貌しております。やたら外人が多いのです。台湾、韓国、香港、なんといってもオーストラリア人が最も多く、JR函館本線の駅で言いますと南からニセコ、比羅夫、倶知安となっておりますが、特に比羅夫のレストラン、居酒屋などには外国人が多いのです。1年程前の古い経験で失礼とは存じますが、まるでオーストラリアにいと錯覚するようなパブに入ってしまった。しゃれた造りなのですがオーストラリア英語が主流で、あとは片言の日本語しか通用しないのです。お客も従業員もほとんどオーストラリア人だったからです。そんなレストランやオーストラリア人の別荘が現在もどんどん増えているそうです。

バブル絶頂の頃、オーストラリア西海岸のリゾート地パースの物件を日本の企業や個人が購入しているのをよく耳にしましたが、現在はその反対で、ニセコにオーストラリア資本が入ってきており、中でも比羅夫地区に特化し、そこだけ大きく土地の値上がりがあるそうです。

オーストラリアは気候が日本と逆で、なお時差を気にしなくてもよいし、スキーとかラフティングなどはシーズンオフにできますので、日本に来れば彼らは年中出来ることになり、こんなところにも人気の秘密があるのかも知れません。

スキー場もいいのですが、私には温泉もありがたいところですよ。

ニセコの温泉は概ね10km四方の範囲に昆布川、アンヌプリ、新見、湯本、東山等の温泉があり雄大な自然の中で多くの種類の例えば硫黄泉、炭酸水素塩泉、放射能泉、塩化物泉等があり、まさに温泉パラダイスで日帰り温泉も数多くあります。そんな中でそれほど数多くはありませんが、本物の中の本物と言いますか、沸かさず、薄めず、循環せず、の源泉かけ流しもありますので、そういう温泉宿を選んで宿泊すれば絶好の骨休めになります。泊まったところのご主人にお聞きすると、日本の温泉の1割未満しか100%の天然温泉である、「沸かさず、薄めず、循環せず」はないそうです。ゆったりとした気分が味わえ、連泊でもすれば心身爽快になり、充電できること私の保障付きです。中でも湯本の硫黄泉が私の好みです。本日はニセコの雪質と温泉の宣伝でした。

お 祝 い

古稀のお祝い



神谷 光義 会員

還暦のお祝い



竹内 一郎 会員

銀婚式のお祝い

加藤 俊二 会員

1月の会員の誕生日…神谷光義、岡本戡紘、原田光二、橋典子、竹内一郎、渡邊敏男、岡本巧、野村勝実、兵藤文男、小川耕示、小林裕幸、白濱重人、水野宏幸会員。

配偶者の誕生日…坂貞子（茂）、高野延子（基弘）、八木恵（道之）、杉山恵美子（欣輝）、原田トモ子（光二）、杉浦眞佐子（世志朗）、野村裕子（勝実）、鈴木ゆかり（文三郎）、中村由利子（道彦）夫人。

結婚記念日…池田憲司、加藤哲也、杉浦芳一、加藤俊二、小林雅紀、角谷広高会員。

1月度入会記念日…杉浦世志朗、鈴木文三郎会員。

「私のマニフェストについて」

刈谷市長 竹中 良則 氏



刈谷市長の竹中でございます。本日はお招きをいただきまして、本当にありがとうございます。

昨年、本市では、総合運動公園内の新体育館、フローラルガーデンよさみ、JR 東海道線の野田新町駅などが完成し、今春に北部生涯学習センター、

来年暮れまでには刈谷駅南地区の再開発事業において中核的機能としての中部の生涯学習センターが完成します。また、刈谷の新名所の刈谷ハイウェイオアシスには、遊戯施設が整ってまいります。これらは皆様方をはじめ、市民各位のご理解ご協力によるものと心から感謝申し上げます。

私は、昨年7月の市長選挙により、第16代刈谷市長に就任させていただきましたが、その際に71項目のマニフェストを皆様にお示ししました。今年はそのマニフェストを本格的に実現に移していく年であります。

私がマニフェストとして掲げ、皆様にご約束いたしましたのは、刈谷に住む人、働く人、学ぶ人が「元気で幸せ」を実感できる街をつくりたい、そのために刈谷を「やすらぎ」「いきがい」「うるおい」「いろどり」「しんらい」に包まれた街にしたい、ということでした。今後、この5つのキーワードに沿って、各種の施策を推進していくと考えております。

まず「やすらぎ」であります。暮らしの安心と安全がこのキーワードの中心をなす思いです。市民の方々が不安なく生活を送ることができるよう、市民の生命と安全を守るための防犯・防災対策の推進と、子育てと社会参加の両立や高齢者・障害者の方が安心して生活できる環境を、今以上に整えていきたいと考えております。

2つ目は「いきがい」であります。“生きがいを持った人生”がこのキーワードの思いです。市民の方々が健康で元気に暮らせるよう、自己実現を図りながら自立した生活を営めるよう、健康づくりや生きがい支援、産業の振興を図っていききたい、そして、未来の社会を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、教育環境の充実も図っていききたいと考えております。

3つ目は「うるおい」であります。“快適で住みやすい都市基盤”がキーワードに込めた思いです。本市には交通集中による渋滞など都市が持つ特有の課題もあり、こうした問題の解消に向けた取り組みを推進するとともに、生活基盤の整備と合わせて、緑豊かな「うるおい」を感じられる取り組みをしていききたいと考えております。

4つ目は「いろどり」であります。“郷土の財産を大切に”“余暇活動を通じて人生を豊かに”がキーワードに込めた思いです。先人たちが育んできた歴史や文化を、未来へと語り継ぐことも私たちの大切な使命です。その上で、文化やスポーツといった生涯学習、さらには人と

人の交流といった幅広い市民の自主的な活動を大切にしながら、様々な事業を進めていきたいと考えております。

最後に「信頼」であります。“市民から信頼される行政、そして時代の変化に対応した行政の自己改革”が市政を運営し経営していくにあたっての、市民の皆様への私の姿勢です。少子高齢化、人口減少社会、国地方の膨大な財政赤字、経済のグローバル化、住民ニーズ・価値観の多様化など、激しいスピードで社会が変化しております。こうした変化の早い時代にあって、その時々々の市民生活の課題に的確に、適切に対応することが、今からの行政に不可欠なことと思っております。

以上、マニフェストに込めた考え方や、今後の事業展開の基本的な方向性を説明させていただきました。具体的には、現在策定しております20年度当初予算に盛り込んでいく事業、実施に向けた検討に時間をいただきたい事業など、一気にとはいきませんが、着実に任期中には何らかの先鞭をつけたいと思っております。

また、時代の変化が激しい今日にあっては、事業実施のみに固執せず、皆様方をはじめ多くの市民の声を伺いながら、その時々において一番良いと思うことを選択していけるよう努めていききたいと思っております。柔軟さを持ち合わせながら、着実に市政の舵取りをしてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。